



# りそな銀行アジアニュース

平成 22 年 5 月 17 日  
りそな銀行 法人ソリューション営業部 国際業務室

【シンガポール駐在員事務所】

## 「2010 年第 1 四半期マレーシア経済報告」

- 5月13日、マレーシア中央銀行バンク・ネガラ(BNM)は2010年第1Q(1~3月期)のGDP成長率を前年同期比で+10.1%と発表した。堅調な民間消費と公共支出に支えられた内需の継続的成長と、外需の目立った回復でエレクトロニクス分野(E&E)が急成長したなどが牽引したことから、2000年第1Q以来10年ぶりに2ケタの伸びとなった。
- 同日、バンク・ネガラの金融政策委員会は、オーバーナイト政策金利(OPR)を0.25ポイント引上げ2.50%と発表した。中銀は、利上げに踏み切ったのは金融環境をさらに正常化させるための措置だと説明した。3月に0.25ポイント上げたのに続いて2回連続の利上げとなった。

### 【産業別前年同期比 GDP 成長率】

産業	内容	GDP 構成比*1
農業	パームオイル樹のリプランティング(植替え)を受けて、パームオイルの生産は+1.4%と小幅な伸びにとどまった一方、国内外で需要が高まったゴムが+34.7%と過去最高の伸びを記録したことから、農業全体では+6.8%となった。	7.1%
鉱業・採石業	コンデンセート、原油の生産はそれぞれ▲9.4%、▲0.9%と引き続き低下したものの、天然ガスは+8.8%と増加したことから、鉱業全体では+2.1%となり、09第4Qのマイナスからプラス成長に転じた。	7.9%
製造業	世界的な需要回復でエレクトロニクス分野(E&E)は+34.4%と大きく伸びたほか、輸送機器・その他製造分野なども+25.3%と好調だったことから、製造業全体では+16.9%となり、09年第4Qの+5.0%から伸びが拡大した。	27.7%
建設業	公共事業と非住宅部門が寄与したことから、+8.7%となった。	3.1%
サービス業	貿易と国内消費に関わるサービスに支えられて卸売・小売分野は+9.6%、金融・保険分野が+6.4%と寄与したことから、サービス業全体では同+8.5%と好調に推移した。	57.1%

\*1) その他の項目として間接的に計測される金融仲介サービス(FISIM) ▲4.1%、輸入関税 1.2%を含め100%となる

### 【産業別実質 GDP 成長率の推移(四半期ベース、前年同期比)】 (単位:%)

業種	年	2009年				2010年	
	2008年	2009年	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
全産業	4.7*1	▲1.7	▲6.2	▲3.9	▲1.2	4.4*1	10.1
農業	4.3*1	0.4	▲4.4*1	0.4*1	▲0.4*1	5.9*1	6.8
鉱業・採石業	▲2.4*1	▲3.8	▲5.2	▲3.5*1	▲3.6*1	▲2.8	2.1
製造業	1.3	▲9.4*1	▲17.9	▲14.5	▲8.6	5.0*1	16.9
建設業	4.2*1	5.8*1	1.2*1	4.5	7.9	9.3*1	8.7
サービス業	7.4*1	2.6	▲0.2	1.7*1	3.4	5.2*1	8.5

\*前回発表の値を今回発表時に修正  
以上

【出所:“Economic and Financial Developments in Malaysia in the First Quarter of 2010” Bank Negara Malaysia、  
“National Product and Expenditure Accounts First Quarter 2010” Department of Statistics, Malaysia、新聞記事】

照会先:法人ソリューション営業部 国際業務室 (東京)電話 03-6704-2723  
(大阪)電話 06-6268-6357

当資料は、信頼できると思われる情報に基づいて作成しておりますが、弊行がその正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前の連絡なしに変更されることもあります。当資料は情報提供のみを目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、お客様御自身でご判断下さいようお願い致します。  
\* 禁無断転載